

春から初夏にかけてはつつが虫の多発時期となっておりますが、これからレジャーや山菜採りなどのシーズンを迎えるにあたり、次の事項に十分に注意してください。

1 発生の状況

ほとんどの患者は、山中や畑などでつつが虫（感染ダニの幼虫）に刺されたことにより感染しています。

2 注意すること

- ① 山林、河川敷等の草地、耕地などに立ち入る際には、素肌の露出を避けるため、長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用しましょう。
- ② 山林等に立ち入った後、農作業の後には、衣服にダニが付着している可能性があります。

帰宅後には早めに着替えて入浴をしながら体から洗い落としてください。
作業に使用した衣類はすみやかに洗濯をしましょう。

3 症状と対処方法

山林等に入った後の約1週間後に発熱・発疹等の症状が出てきます。

速やかに医師の診察を受けましょう。その際には、医師の診断の参考のために山林等に入ったことや刺し口（ダニに咬まれたようなあとやその後ができるカサブタ）の有無を医師に話しましょう。

